

徳島県環境審議会生活環境部会 会議録

1 日 時

令和6年1月25日（木） 午後2時から午後3時5分まで

2 場 所

徳島県庁 10階 大会議室

3 出席者

<委員> 委員17名中11名が出席

（1号委員：学識経験者、五十音順、敬称略）

岩下佳代委員、尾田幸運委員、岸史郎委員、谷口美德委員、

西山成実委員、板東美千代委員、古本奈奈代委員

奥嶋政嗣委員（副部会長）、本仲純子委員（部会長）、

（2号委員：市町村長又はその指名する職員、五十音順、敬称略）

井原まどか委員、寶木由起美委員

<事務局>

森危機管理環境部副部長、田中環境管理課長 ほか

4 会議次第

（1）開会

（2）挨拶

（3）審議

「令和6年度公共用水域及び地下水の水質の測定に関する計画」について

（4）その他

「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」の進捗状況について

（5）閉会

《配付資料》

・ 会議次第

・ 名簿

・ 配席表

・ 資料 1-1 「令和6年度公共用水域及び地下水の水質の測定に関する計画」（案）
概要

・ 資料 1-2 「令和6年度公共用水域及び地下水の水質の測定に関する計画」（案）

・ 資料 1-3 「令和6年度公共用水域及び地下水の水質の測定に関する計画」（案）
説明資料

・ 資料 2-1 「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」概要

・ 資料 2-2 「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」の指標

・ 資料 2-3 「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」の進捗状況について

・ 参考資料 用語解説

5 審議

■議事概要

【事務局】

もう一名遅れて来られる予定となっております。10名の時点で当部会の委員数17名の過半数が出席しておられますので、徳島県環境審議会運営規定第七条第三項の規定により、この会が有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

なお、本日の審議は公開となっております。また、徳島県環境審議会運営規定第九条により会議録の作成が義務付けられており、当部会の議事も録音いたしますので、予めご了承ください。それでは初めに危機管理環境部森副部長からご挨拶を申し上げます。

【森副部長】

(挨拶)

【事務局】

ここで本日をお配りしておりますお手元の資料についてご確認をお願いいたします。(会議資料等の確認)

【事務局】

それでは審議に移らせていただきます。本日の案件につきましては、知事から環境審議会会長に諮問されております。また、運営規定第六条第一項により、環境審議会会長から当部会に付議されております。

当部会の議事進行につきましては、運営規定第三条及び第七条第二項に基づきまして、部会長が行うこととなっておりますので、本仲部会長に議長をお願いし、以後の議事を進行していただけたらと思います。では、本仲部会長よろしくお願いいたします。

【部会長】

部会長の本仲でございます。今日は寒い中、ご出席くださいまして誠にありがとうございます。ただいまから議事の進行にあたりまして、委員の皆様方には審議に対するご協力よろしくお願い申し上げます。

それでは、ただいまから審議に入らせていただきます。まず初めに「令和6年度公共用水域及び地下水の水質の測定に関する計画」(案)について事務局の方からご説明をお願いいたします。

【事務局】

(説明)。

【部会長】

ありがとうございました。ただいま、令和5年度からの変更点について詳しく説明していただきました。このことに関しまして、何かご質問とかご意見はございませんでしょうか。

今回は例年になく多く変更することになっております。

【委員】

詳しく資料を読み込むと書いてあるのかもしれませんが、説明資料28ページで説明いただいたCODについて、BODと相関があるので測定頻度を低減してもいいだろうというご説明でした。ここでBODについては変更なしということだと思っておりますが、河川27地点全てで、どの程度の頻度で計測されているのか確認させていただきます。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。BODの調査地点数ということでよろしかったでしょうか。

【委員】

はい、頻度は河川によって違うということですか。それでしたら、調査地点数でも結構です。資料1-2のどのあたりに書いてあるかといった情報でも結構です。

【事務局】

測定頻度につきましては、資料1-2の5ページから詳細に調査回数、調査地点の方を示させていただいております。

基本的に河川の水質汚濁につきましてはBODで評価しておりますので、BODにつきましては毎月の調査を継続いたします。CODにつきましては、これまで年6回測ってきた河川27地点につきましては、年2回に減らというところにしております。海域の方は、CODが水質汚濁の評価項目となっておりますので、そのまま調査を毎月継続するというところでございます。

【委員】

BODというのは、基本的な事項なので、毎月どの地点でも測定しているということよろしかったですか。

【事務局】

徳島県の方で実施している地点につきましては、BODは毎月測定する計画としておりますが、市町の方で実施していただいている補助点、類型指定がない河川の測定地点など、そういったところにつきましては毎月の検査ではなく年間4回であるとか、年間6回とかいう地点もございます。基本的に環境基準点では毎月BODを測定する計画となっております。

【委員】

承知しました。

【部会長】

その他、何かご質問ございませんか。

【委員】

気になったので教えていただきたいんですが、スライド27枚目の県南補助点の調査頻度の低減のところで、2021年の厄除橋について、ここだけBODがすごく上がっていた原因について何か把握されているのでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。こちらのグラフでは2021年、高くなっていますけれども、実際の具体的な原因までは把握しきれていないところです。ただ、環境基準はクリアしておりまして、BODは1から2未満で推移してしまして特段問題となる値ではないというふうに認識しております。

【部会長】

ありがとうございます。2022年はまた元に戻っており、基準値よりはだいぶ下ですし、問題ないと思います。その他、何かございませんでしょうか。

【委員】

二点ありまして、徳島は水がきれいということが全国的にも言われていると思いますが、この値というのが全国と比較してどの程度のきれいさなのかということが県民としては興味深いです。それがアピールポイントにもなると思うので、全国との比較、他県との比較ではどうでしょうか。

それと今、一番皆さん言われている海洋プラスチック、マイクロプラスチック問

題は非常に関心が高く、直接健康被害にも影響を与えているということがあると思うんですが、今後そういうマイクロプラスチックの測定などを取り入れていく予定があるのかどうかということも、お伺いできたらというふうに思います。

【事務局】

ありがとうございます。本県の河川の水質の状況、海域の水質の状況につきまして、全国と比較する指標の一つに環境基準の達成率というのがあるかと思います。これを全国と比べますと、令和4年度は徳島県の河川が96%の環境基準達成率のところ、令和3年度は全国では93.1%、海域につきましては、本県100%環境基準達成しているところ、全国の方では78.6%というような状況ですので、本県の河川、海域の水質は概ね良好であるというふうに考えております。

マイクロプラスチックの調査を今後するのかという点につきましては、この計画で調査するのが環境基準項目、要監視項目と言いまして、データの蓄積が必要と環境省が示した物質についての調査を測定計画に定めて調査していくというふうにしております。まだマイクロプラスチックについては、具体的に調査していくというところまでの話はなく、これからの検討事項にはなってくるかと思っております。

【部会長】

よろしいですか。今後計画に入ってくる可能性はありますけど。その他何かございませんでしょうか。

【委員】

私は、川掃除を通じてずっと30年間川を見てきましたけれども、きれいになった新町川を皆さん見てくださってすごくいい方向にはいってるんですが、未だに月2回の掃除をした際、ビニールのゴミはあります。かなり減りましたが、浮いているのはほとんどプラスチック系のゴミです。徳島県のモラルは確実にレベルが上がっているし、意識も変わってきております。ビニール袋をスーパーでも買うようになったりして、それも影響があればいいんですけどね。たやすくゴミをビニールに入れて捨てる人が増えなければいいんですけど、たまに家庭のゴミをビニール袋に入れたものがそのまま川に捨てられているのを拾います。

【部会長】

川を掃除していたらよくわかると思いますけど、以前は自転車がずいぶん多かったですよね。

【委員】

船に乗って掃除をするんですが、30年前は、1回につき最低でも10台は自転車を拾っていました。みんな見えなかったんですね。昔は川の色が真っ黒でしたしね。

【部会長】

とても濁ってもいましたから。

【委員】

だから全然違っていました。今はね、自転車は一年に1台ぐらいあるんですけど、川が透明で上から透けて見えます。潮が引いた時しか取れないんですけど。

徳島は水に関する市民の気持ちは確実に意識が高まっていると思います。水のこの検査項目を見ても、すごい細かく調べているのが今日改めてわかりました。水への価値観は、ますますこれから重要になってきますので、見直されていくと思いますね。

【部会長】

先日大阪の方から来られたお客さんに言われたんですけど、「徳島は川の水がきれいですね。大阪の方はこんなんじゃない」と感心していました。徳島の川はきれいですよね。

その他何かございませんでしょうか。それではだいたいご意見が出尽くしたということで、部会では報告をまとめる必要がございます。事務局の方から報告案というのを提示させていただきますので、ご覧いただけたらと思います。

それでは事務局の方で報告案を朗読していただけますか。

【事務局】

（「報告（案）」朗読）

【部会長】

ありがとうございました。ただいまの報告案につきまして、何かご意見はございますでしょうか。

【部会長】

では、ご意見なしということで、本案を部会報告とすることでよろしいでしょうか。

【部会長】

では、ご異議がないようですので、本案を持って部会報告とさせていただきます。なお、私が徳島県環境審議会会長を務めておりますので、徳島県環境審議会運営規定第八条第二項の規定によりまして、当部会の決議を環境審議会の決議として、知事に答申したいと思っております。よろしくお願いいたします。

続きまして「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」の進捗状況についてということで、事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】

（説明）

【部会長】

どうもありがとうございました。ただいまのご説明に対しまして、何かご質問とかご意見はございませんでしょうか。

【委員】

いろいろと計画の進捗状況を紹介していただいたんですけども、まだ中間的な状況だと思っておりますが、現時点で進捗が十分に計画通り進んでいないような点というのは特には見当たらないという認識でよろしいでしょうか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。この計画につきましては、指標の方は設定していますが、目標値というのは特に設定していないというところで、状況を把握することで傾向を見ていっているという状況です。特に進捗が不安視されるようなところがあるかといいますと、現在のところ、いずれの指標に関しましても、そういったようなものというのではないというふうに考えております。

【委員】

水温は上がっているということなので、気候変動の方の問題という認識でよろしいですか。

【事務局】

ありがとうございます。海水温の上昇につきましては、気候変動の影響を捉えるという意味で指標の方に入れております。おっしゃる通り、気候変動の影響で、長期の傾向を見ましても、少しずつ海水温が上昇しているというのが見て取れるかと

思います。また、河川流量につきましても、気候変動の影響を受けて海域への淡水流入量が変動するというような研究がございますので、そういうのを踏まえまして、指標の方に入れていているというところです。

【委員】

承知しました。

【部会長】

水温の変動は1℃でも相当生物にとっては影響が大きいと思いますので、監視していく必要があるかと思います。その他何かございませんでしょうか。

【委員】

1点教えてもらいたいんですが、汚水処理人口普及率の部分で全国平均が92.9%とありますが、これは合計の数で92.9%ってということなんですか。

【事務局】

ご質問ありがとうございます。全国平均の92.9%というのは、全国の合併処理浄化槽、下水道などで汚水を処理する人口のトータルした数値になります。

【委員】

ありがとうございます。これから先の計画の中で、普及率を上げるためにどれか主な取り組みとかはございますか。

【事務局】

汚水処理人口普及率を上げるための県の取組としましては、県土整備部の方の取組にはなりますが、合併処理浄化槽の普及率を上げていこうというふうな取組を実施しているところです。下水道の方ももちろん少しずつ増えてきてはいるんですけども、それ以上に個人のお宅について単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換であるとか、そういったところで合併処理浄化槽を推進しているところです。

【部会長】

その他何かございませんでしょうか。特にないようですので、こちらが準備した議事はこれで終了したいと思います。議事の進行につきまして、ご協力を大変ありがとうございました。

【事務局】

ありがとうございました。では、最後に、危機管理環境部森副部長からお礼を申し上げます。

【森副部長】

(お礼)

【事務局】

以上をもちまして、徳島県環境審議会生活環境部会を閉会いたします。長時間に渡りまして、ご審議、ご意見を頂戴しまして、誠にありがとうございました。失礼いたします。